

平成21年度

協働授産システム研究会報告書

社団法人 広島県就労振興センター

障害者支援施設の官公需受注状況と取組み

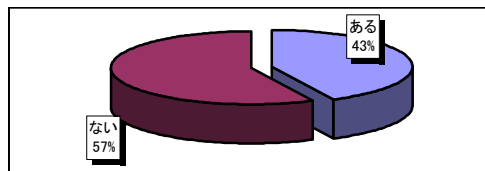
1. 受注実績について

・回答のあった障害者支援施設のうち、官公需の受注実績がある施設は約4割となっている。

(今年度官公需受注実績がありますか。【全施設へ】)

ある
24

ない
32



回答のあった施設は官公需に対する関心が高い施設と考えられることから、回答のなかった施設を含めた全体では、受注実績のある施設の割合は4割より低いものと思われる。

2. 受注内容について

・役務については公園等の清掃業務、物品については印刷物、記念品等の受注実績が多い。

(受注実績を御記入下さい。【受注実績がある施設へ】)

H21年度(12月末まで)受注分	H20年度受注分
53万 公民館等の清掃(前年比1件増)	55万 公民館等の清掃
50万 保育所清掃/保健センター清掃	21万 保育所清掃
100万 公園・公衆トイレ清掃業務	
225万 清掃委託業務	300万 清掃委託業務
264万 公園清掃×2件	約266万 公園清掃×2件
370万 清掃(ワックス含)	370万 清掃(ワックス含)
約42万 都市公園管理	
39万 草刈り,除草,清掃業務	約97万 草刈り,除草,清掃業務
10万 草刈等	—
16万 洗車業務	20万 洗車業務
0	45万 印刷・SPコード付
46万 印刷	35万 印刷
23万 印刷(封筒、帳票類、名刺)	32万 印刷(封筒、帳票類、名刺)
145万 名刺/記念品(木製時計)	47万 名刺
600万 印刷など	700万 印刷など
79万 封筒詰め業務/広場管理・清掃業務	76万 封筒詰め業務/広場管理・清掃業務
約11万 広報等発送準備・	12万 広報等発送準備,施設敷地内草取り等
8千 レターセット	8千 レターセット
9.5万 ふきん	
約9万 保育所パン	約59万 保育所パン・卒園式用お土産
80万 新成人記念品	0
211万 フェイスタオル・ランチョンマット等	288万 フェイスタオル・ランチョンマット
— 記念品の受注	

パン、ケーキ、クッキー等の食品を生産している施設が多いが、食品の受注実績は極めて少ない。

食品の発注も検討が必要である。

3. 官公需の受注希望について

・官公需の受注実績がないと回答した施設のうち、受注を希望する施設は約7割となっている。

(官公需を受注したい気持ちがありますか。【受注実績がない施設へ】)

ある
22

ない
8

(他、2)

官公需の受注実績がない施設の約7割は受注を希望しており、引き続き障害者支援施設への官公需の発注推進が求められている。

4. 障害者支援施設への官公需発注推進の取組状況について

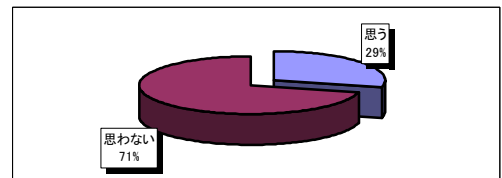
・障害者支援施設への官公需発注が増加していると感じている施設は約2割、増加していないと感じている施設は約7割となっている。

(官公需の福祉施設への発注は増加していると思われませんか。【全施設へ】)

思う
13

思わない
32

他計 11, (わからない5,無回答6)



障害者支援施設への官公需発注が増加していないと感じている施設が多く、これまで以上の発注側の取組みが必要である。

5. 障害者支援施設への官公需発注増加に繋がる取組みについて

・発注側の制度や体制の整備，施設側の協議会等を通じた要望が発注増加に繋がったと感じている。

(どのような取組みにより発注が増加したと思われますか。【増加していると思うと回答した13施設へ】)

発注側(官公庁側)の取組み

障害者支援施設に対する優先的発注制度の導入
優先的発注制度の導入を県が制定した効果(市町への波及)
地方自治法の改正などにより市町でも、取組みが始まっているところがある。
自立支援法が施行された後すこしずつ増えたと思う。制度の影響もあるものと思います。
福祉に対する取組姿勢の変化
市の社会福祉課を中心とする積極的な取組み
頻りに募集の用紙が届く
業者に発注する前に自立支援協議会等で募集

施設側の取組み

体制を整えて売り込んだこと
自主製品の品質のレベルアップ
発注があればニーズにこたえられるよう全力で取り組んでいる。
次年度も引き続き受注できるように年度替り等に営業活動をする。
市就労支援センターから情報があつた。
小規模作業所協議会で市へ要望しています。
自立支援協議会で要望
施設連絡協議会で要望した。
市福祉課への働きかけ。自立支援協議会で要望していった。
自立支援協議会・就労支援部会等による市への要望。ただしその発注状況は微増という程度で今後さらなる増加を要望してゆきたい。
市長との懇談会、自立支援協議会等での要望
官公庁への積極的な要望
就労支援ネットワークでの話し合い、自立支援協議会での話し合い。

施設側の取組みとして“要望”の記載が多いが、製品の品質向上や発注側のニーズに応える努力により、一般企業に劣らない製品、役務を提供することが必要である。

6. 障害者支援施設への官公需発注が増加しない原因について

- ・発注側の問題としては、施設の業務内容を十分に理解していないことや取組みの不足が挙げられている。
- 施設側の問題としては、納期や数量への対応能力や施設の業務内容のPR不足が挙げられている。

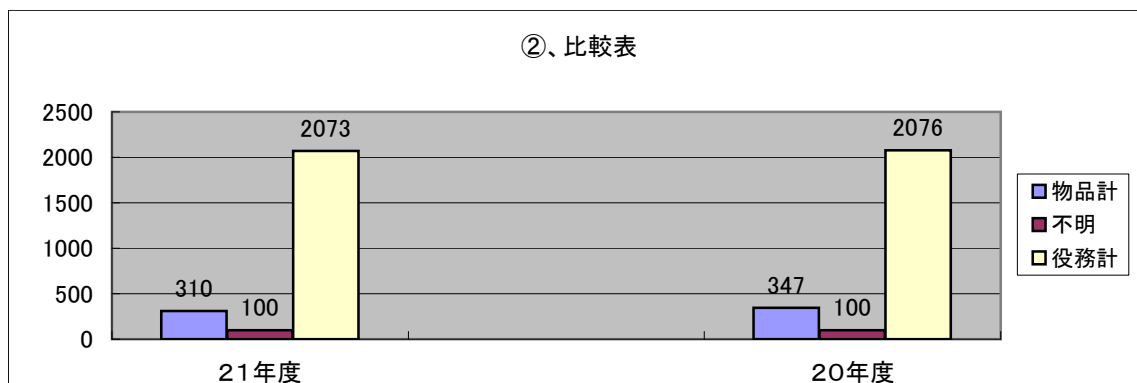
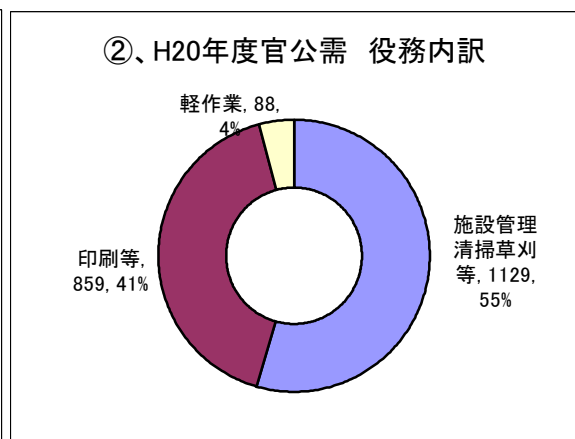
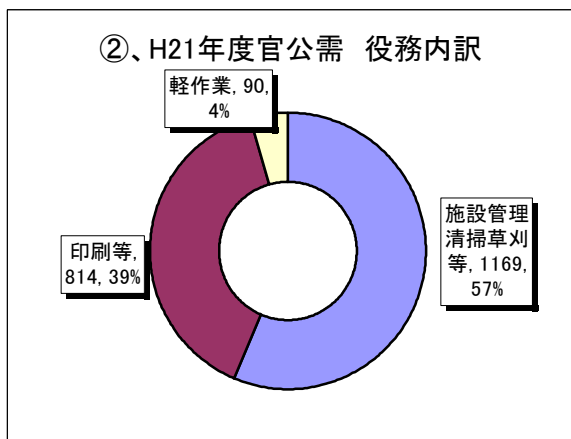
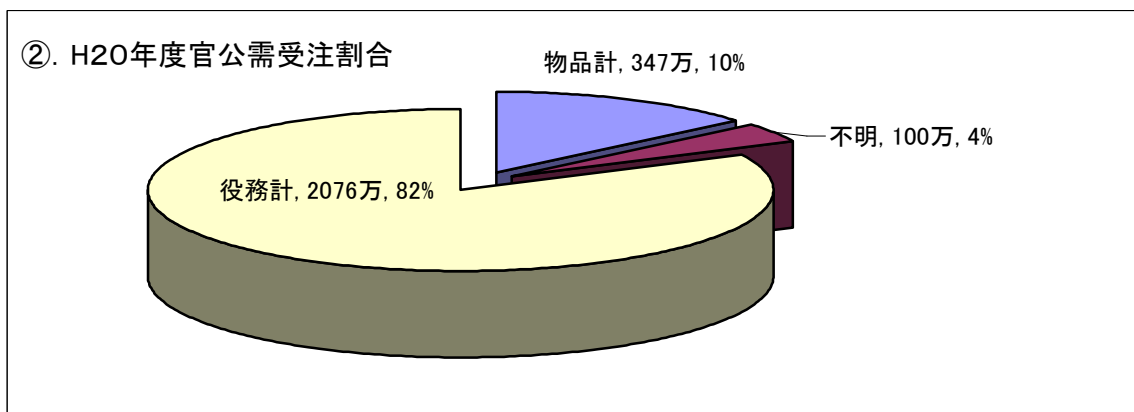
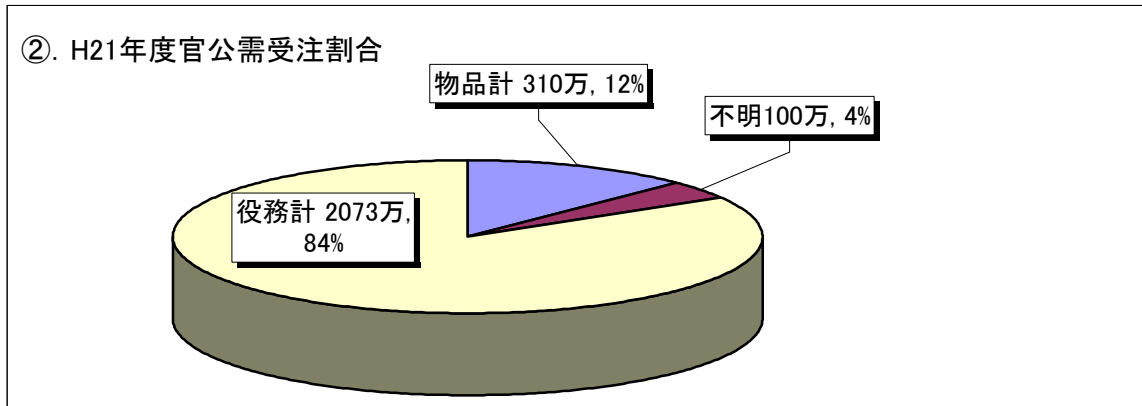
(発注が増加していない原因はどこにあると思いますか。【増加していると思わないと回答した32施設へ】)

- 発 予算削減に伴い、記念品の贈呈が廃止・減少してきたことも考えられる。(物品の受注経験あり)。
- 発 官公庁の資金不足から年々契約金額が減っている現実があるので、件数増加は望めないとする。
- 少ない仕事をシルバー人材センターや福祉施設が競争して入札している。結果的に関わることができる仕事が増えない。
- シルバー人材センターとの競合。
- 施 他の作業との関わりがあり、単純に受注できない実態がある。
- 施 手作り作品等、あるいは青果の袋詰め等をしている施設には、何れの官公庁の官公需も関係がない。
- 官公庁の施設に対する理解と信用不足、施設の受注体制不足と積極性不足。
- 施 施設のアピール不足(施設で何が出来るか)
- 施 施設が発注に対応できない。
- 役務の発注内容に全て対応できない(ハードルが高い)。
- 施 発注に対応できる施設が少ない(対応も設備なども含めて)
- 発 毎年入札の申し込みをしているが、一回も発注がきたことがない。
- 情報不足もあると思いますし、施設が発注に対して数量などの対応ができない場合もあると思います。
- 施 印刷物関係の指名競争入札に参加していますが、見積金額でどうしても負ける。
- 発 入札制度の不備・合理的配慮が欲しい(例:1万円以下の入札で数百円の差で外れた。)
- 発 施設から打診するが、既に業者が入っている等の理由で受け入れられない。
- 官公庁がどのように取組みをしているかが伝わりにくい。また万が一施設に発注があったとしても大量に受ける力がない。
- 発 官公庁による就労振興センターの活用不足
- 官公庁・施設のお互いの取組不足。
- 官公庁の取組み不足 福祉施設の連携不足
- 発 官公庁の優先発注に対する意識が薄いのではないか。
- 発 優先発注の範囲が狭い。
- 発 優先発注の品目が限られる。
- 発 市・町でも中央に偏っている。
- 発 官公庁の施設実態の把握不足と施設との協議不足など。
- 発 官公庁の取組み不足。
- 発 官公庁の理解不足。
- 発 官公庁の広報不足。
- 発 官公からの情報提供不足。
- 発 官公庁の発注状況について公開されていないから。
- 発 役所内にコストダウンの考え方が定着していない。

発注側は優先発注制度の導入、優先発注の範囲の拡大を含め、取組みを強化することが必要である。

施設側は、能力的な限界も含め、施設ができることを行政に理解させる働きかけを行うことが必要である。

(単位:万円)



ウ

21年度

20年度

7. 障害者支援施設への官公需発注を拡大するために必要な取組みについて

(今後、官公需の福祉施設への発注を多くするためには、どのような取組みが必要と思われますか。)

【受注実績がない施設】

お互いの連絡を密にとれるシステム作りと、小口の注文も対応できるようなネットワーク作り

官公需のニーズを把握し、それを調整する役割を持つところが必要と思われる。

施設単位ではなく、地域単位等での窓口となる体制づくり(施設サイド)

シルバーとの調整, 共存関係。

現在、雇用・受注の受け皿としての社団法人を、全障害者施設をメンバー・シップに設立準備中…。これに期待。

契約職員で行っている業務で、施設に対しグループ就労として発注できるものがあれば、ご一考願いたい。

大手に一括発注するのでも外注費削減となるが、その中の一工程でも先に施設側へ情報提供をしてほしい。

環境に配慮している商品に注目してもらいたい。

官公庁が発注する仕事内容を一覧表にして提示し、施設は内容を理解して受注判断を行うシステムを作してほしい
どのような商品を希望されるか。価格など(平均的なものでOK)知りたい。

ここ1年間の、官公庁から受注された内容等を表にして頂けると、これからの自主製品開発に参考になると思います。

独自の自主製品の開発に向けて、取り組みが必要と思います。

どのように発注されて、どの施設のどの商品が使われているか公開してほしい。

受注についての双方の情報提供の拡大が必要だと思います。

発注側と受注側の信頼関係

福祉施設の事業内容の把握及び積極的な発注

事務手続きの簡素化

手続きが簡単であること。

行政内での意識の高まり、行政内での仕事の洗い出し

行政も楽になったり人件費ダウンになる、このことがよく認識出来るモデル的なものを提案し、理解を促す。

プロジェクトを組み、仕事の切り出しと数値目標を決め、本格的に始動する必要がある。

(あるいは自立支援協議会にて行う。)

市役所レベルでもっと官公需が出るよう各課で数値目標を決めて検証するぐらいでないといけないと思います。

施設に対する優先的発注制度をもっと導入してほしい。

職員の方々の配慮

施設の意識向上、技術向上、環境(ハード・ソフト両方)の整備が必要。

各施設単位で出来る仕事の取組み等を考える必要がある。官公需はどちらかと言えば、一般向きである。

【受注実績がある施設】

窓口となる専門の機関を設立し、小規模の施設も受注可能となる取り組みが必要と思われます。
シルバー人材センターとの調整が必要。
職員の人材確保のための報酬アップが必要。
職員を指導するための専門機関(清掃・印刷業・除草作業・売店・喫茶店等)が必要。
役務の場合は、利用者のできない分を職員で補う必要がある。営業活動、現状報告は必須だと思われる。
官公庁から、どのようなもの(イベント等)から発注があるかという情報提供。
福祉施設にどのくらい発注したのか公開すればと思います。
情報の公開(県下各受注事業所の実績公表を含める)。
納期確定などの施設側の営業能力が不足している。営業活動も含めて官公庁とつながりが増える努力が必要。
官公庁と福祉施設が話をする場を年に1回くらいもつ中で、もっとお互いが対話をする必要があると思う。
福祉施設も全体で任っていけるような努力が必要。
分担して2つの作業所で受けるという方法ではだめなのか？
施設側からの根気強い打診、官公庁の前向きな対応
官公需へ取り組みの目標数値を明確にしてもらい、実績の確認を行う。
優先発注制度をはじめ、ある程度の枠組み・予算付けを義務化する方向で進めていくべきだと思う。
(シルバーセンターがどうしても優先されがち)
国、県、市区町が福祉計画を基に、積極的に業務委託に取り組んでいただけると有り難いです。
官公庁に福祉施設への発注を増やすようにしてほしい。
随意契約を増やしてほしい。

◎官公庁

- ・発注内容(物品の種類など)の範囲を拡げる。例えば、食品などは対象になっていない。
- ・物品、役務にしても、パッケージ全体の発注ではなく、ある一部分だけ施設へ発注するなどの発注方法を検討する。

◎施設

- ・受注に対応できる生産体制を整備する。
- ・施設間の連携強化。
- ・共同受注窓口組織の具体化。

アンケート調査を行い、集約した後で自立支援協議会などで協議する。

自立支援協議会での委託事業部門の立ち上げや、積極的な役所への働きかけ、委託事業種の紹介を広げる。

自立支援協議会で要望(官公庁からの情報提供・斡旋)する。

営業活動をする。

商品・情報の発信、周知。

他施設との連携

施設のPRと技術力アップ

どうやったら金額を安くできるか再検討する、また、体制を整えて行政へ理解を求めていきたい。

発注側は、

- 障害者支援施設ができる業務(数量、納期等)を把握した上で、優先発注制度を活用して発注を拡大する
- 発注範囲を拡大し、食品を対象に加える
- 庁舎内の業務を荒い出し、役務の発注を拡大する

施設側は、

- 発注に対応できる体制を整備する
- 他施設との連携や共同受注窓口の確立により、大きな業務に対応する
- 営業活動を行い、施設ができる業務を認識させることが必要である。

県内市町の取組状況と課題等

1. 取組状況について

・障害者支援担当課による回答によれば、全23市町のうち4割以上の10市町が、障害者支援施設等への官公需発注に取り組んでいないと回答している。

(障害者支援施設等への官公需発注の拡大に取り組んでいますか。)

ア 取り組んでいる 13

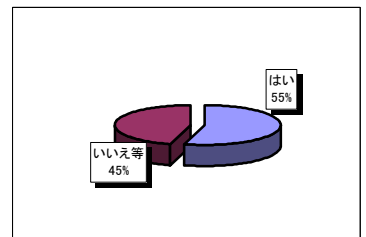
(・広島市・呉市・三原市・尾道市・福山市・三次市・大竹市・東広島市・廿日市市・江田島市・大崎上島町・世羅町・神石高原町)

イ 取り組んでいない 10 (無回答1含む)

(・庄原市・府中市・竹原市・安芸高田市・府中町・海田町・熊野町・坂町・安芸太田町・北広島町)

地方自治体による障害者支援施設等への官公需発注を推進するため、平成16年に地方自治法施行令が改正され、例外的に随意契約による買い入れが可能となった。

しかし、4割以上の市町が「取り組んでいない」と回答しており、県による働きかけ等、市町の取組みを促すことが必要である。



2. 取組みが進んでいない原因について

・「取り組んでいない」理由としては、「発注する物品がない」、「障害者支援施設が何を扱っているのか把握できない」などが挙げられている。

(とりにくくない理由)

- * 必要物がない。 庄原市
- * 障害者支援施設等が扱っている物品等の情報がなく、何を扱っておられるのか把握できない。 府中町
- * 近隣施設において発注可能な物品・役務の提供が行われていないため。 海田町
- * 町内に障害者支援施設等が少なく、発注できる品物がない。 坂町
- * 公用に受発注する物品がないため。 北広島町
- * 今後取り組む予定 安芸太田町
- * 市役所全体での取組みができていない。取組みのノウハウがわからない。 竹原市
- * 取り組んでいないわけではないが、市全体として取り組んでいるとは、言い難い。 安芸高田市
- * 無回答 府中市・熊野町

役務の提供が可能な障害者支援施設も多く、「発注する物品がない」ということは取り組まない理由とはならない。

障害者支援施設が取り扱う製品や役務に関する情報提供を行うことが必要である。

3. 発注している物品及び役務について

・主な発注物品は記念品、印刷物、役務は公園等の清掃となっている。

(主にどのような業務を障害者支援施設等に発注されていますか)

物品購入品目

* クッキー(イベント用)、時計(記念品)など 広島市

* 保育所へのクッキー納品 神石高原町

* 花苗等 江田島市

* 本棚 尾道市

* 印刷物等 呉市・竹原市

* 印刷物、記念品 三原市

* 記念品 福山市

役務内容

* 施設清掃業務 広島市・竹原市

* 公園施設の維持管理、樹木植栽、動物愛護センター清掃、受付、案内業務の一部等 呉市

* 閉所保育所環境整備用務、保育所用務員等業務、河川林道雑草・枯木伐採業務 大竹市

* 公園管理清掃 大崎上島町

* 清掃業務、ワックスがけ業務 府中市

* 清掃、草刈 東広島市

* 草刈 安芸太田町

* ・清掃・封入 三原市

* 寝具の借上げ 安芸高田市

* 印刷業務 三次市

* ファミリーサポートファイル納品(委託) 廿日市市

* あて名シール貼り等の軽作業 世羅町

* 製品の包装作業等 江田島市

* 公民館、公園トイレ等清掃業務 尾道市

クッキーや記念品、印刷物を物品発注しているが、これらの物品を取り扱う障害者支援施設は多い。

また、役務については清掃や軽作業の発注が多いが、この役務についても取り扱う施設は多い。

これらの物品及び業務は、どの市町においても発注可能であり、「取り組んでいない」市町に事例を示し取組みを促すことが必要である。

4. 発注実績について

- ・平成21年度の発注実績は、前年度に比べ大きく増加している。
実績を把握していない市町もある。

平成20年度

単位:万円

	物品	役務		物品	役務		物品	役務
広島市	25	0	庄原市	0	0	熊野町	-	-
呉市	不明	622	大竹市	0	0	坂町	0	0
竹原市	把握できていない		東広島市	-	-	安芸太田町		20
三原市	142	273	廿日市市	0	43	北広島町	0	0
尾道市	0	1,024	安芸高田市		258	大崎上島町		85
福山市	0	0	江田島市	11	4	世羅町	0	13
府中市		380	府中町	0	0	神石高原町	10	-
三次市	0	40	海田町	0	0			

物品合計約188万円,役務合計約2,762万円

平成21年度(12月まで)

単位:万円

	物品	役務		物品	役務		物品	役務
広島市	146	421	庄原市	0	0	熊野町	-	-
呉市	不明	1,171	大竹市	0	1,399	坂町	0	0
竹原市	把握できていない		東広島市	-	54	安芸太田町		3
三原市	142	273	廿日市市	0	0	北広島町	0	0
尾道市	21	1,180	安芸高田市		57	大崎上島町		85
福山市	326	0	江田島市	6	3	世羅町	0	8
府中市		380	府中町	0	0	神石高原町	6	-
三次市	0	0	海田町	0	0			

物品合計約647万円,役務合計約5,034万円

物品、役務ともに発注が大幅に増加しているが、発注額としては役務が大きい。
実績のない市町、実績を把握できていない市町も多く、これらの市町の発注を推進することが必要である。

5. 取組内容について

・障害者支援施設が取り扱う物品・役務の紹介や利用可能なものの提示等が行われている。

(障害者支援施設等への官公需の発注を拡大するために取り組んでいること(検討中の物を含めて))

- ☆ 記念品としての利用を提案する等、各所属に発注の拡大について啓発を実施している。 広島市
- ☆ 市内作業所の業務内容を集約して、庁内各部局に紹介している。全庁的に官公需として発注可能なものを調査している。 三原市
- ☆ 尾道市地域自立支援協議会就労支援部会で、事業所に官公需拡大に向けたアンケート調査等を実施 尾道市
- ☆ 全庁組織で構成する「福山市障がい者雇用拡大推進会議」を設置し、特定随意契約のみでなく、低額な契約を含め優先発注に取り組んでいる。また、受注窓口の一本化等への取り組み支援。 福山
- ☆ 地方自治法施行令第167条の2第3号の規程による随意契約を締結するための要綱を制定。(平成21年7月1日から施行)ただし、この要綱での契約対象となるのがシルバー人材センターのみ 大竹市
- ☆ 障害者支援施設でできることと発注側のニーズとのマッチング 東広島市
- ☆ 関係課へ発注を促す/印刷物等の発注 廿日市市
- ☆ 取扱いされている物品、役務について発注。 江田島市
- ☆ 行政から障害者支援施設への情報提供 大崎上島町
- ☆ 障害者支援施設の業務可能なものを提示しながら検討する予定 神石高原町
- ☆ 各担当部局が発注することとなるため、品目等について、各担当部局へ紹介を行った。 安芸高田市

各市町の取組みのうち効果的であったものについて、事例紹介を行い、情報共有することが必要である。

6. 留意点について

- ・納期や数量への配慮等が行われている。

(障害者支援施設等へ発注するときに気をつけていること)

- ☆ 数量, 仕様, 予算, 納期を明確に伝えるようにしている。 広島市
- ☆ 発注量や納品期間。 福山市
- ☆ 期間を長くする等の配慮をしている。 東広島市
- ☆ 地域性, 公平性, 専門業者ではないので, 遂行可能な業務を選んで設計すること(役務関連)。 呉市
- ☆ 公平な情報提供。 三原市
- ☆ 随意契約をする際に理由を明確化。 尾道市
- ☆ 作業時の安全確保に注意してもらう。 江田島市
- ☆ 安全面に配慮しています。発注の際, 可能かどうかの確認を行っています。 世羅町
- ☆ 入札参加資格の認定を受けることが前提となるので, まず入札参加資格審査申請書の提出が必要である。 安芸高田市

障害者支援施設は小規模なものが多いため, 発注数量や納期に配慮が必要である。
また, 施設間の公平性を確保する必要がある。

7. 障害者支援施設に留意してもらいたい点について

- ・仕様と納期を守ることを求めている。

(障害者支援施設等が業務を遂行するときに, 気をつけて欲しい点)

- ☆ 仕様と納期を守ること。 広島市
- ☆ 納期限内及び仕様どおり, 製品の納品。 廿日市市
- ☆ 業務終了後検査があるので, 検査に耐えうる精度が必要である。 安芸高田市
- ☆ 一般企業と同等の品質と納期。→今後の受注拡大の為。(障害者支援施設の品質が悪かったり, 納期が守られていないということではありません。) 三原市
- ☆ 障害者特性に応じた指導員配置による業務遂行。 尾道市
- ☆ 業務の施工管理, 安全管理を確実に行うこと。 呉市
- ☆ 作業時の安全確保。 江田島市
- ☆ 事故が無いように作業していただきたい。 大崎上島町
- ☆ 現在のところ特になし 世羅町

障害者支援施設への発注の継続・拡大を行うためには, 施設が仕様と納期を守ることが必要である。
発注側が望んでいることについて, 障害者支援施設に周知する必要がある。

8. 障害者支援施設に発注する業務について

・清掃業務等の役務, 印刷物の発注が検討されている。

(今後、障害者支援施設等へ発注しようと検討している業務)

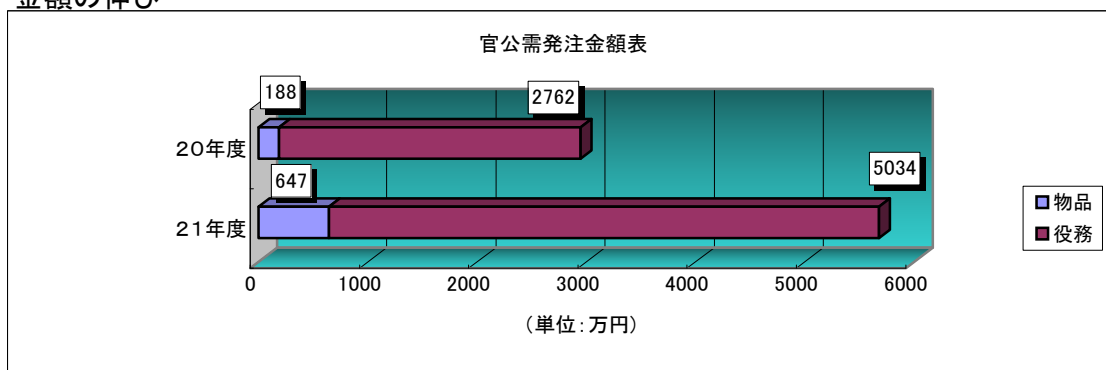
- ☆ 受付,案内業務の一部を継続化させること。 呉市
- ☆ シルバー人材センターへ発注している業務の一部/各種イベント等で使用する記念品の製作。 三原市
- ☆ 施設等清掃業務拡大 尾道市
- ☆ 新設の施設の清掃等 福山市
- ☆ 清掃業務 安芸太田町
- ☆ キャンプ場の除草作業 大崎上島町
- ☆ 緊急雇用対策基金事業(H21~23)の中で、役務を来年度以降も発注予定。 大竹市
- ☆ 印刷物以外では現時点でなし 廿日市市
- ☆ 印刷物 江田島市
- ☆ 特筆すべきものは今現時点では、ありません。 広島市、三次市

発注側の情報を障害者支援施設へ提供し, 障害者支援施設の営業努力を促すことが必要である。

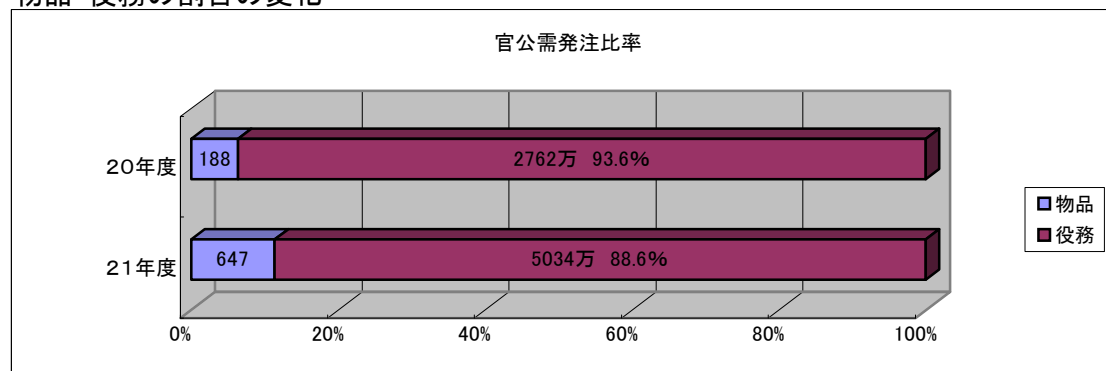
④, ⑤数値分析

	物品 (全体比)	役務 (全体比)	合計
H20年度	188 6.4%	2,762 93.6%	2,950 ,100%
H21年度	647 11.4%	5,034 88.6%	5,681 ,100%
伸び率	344.1%	182.3%	192.6%

金額の伸び



物品・役務の割合の変化



④平成20年度の発注金額は、物品 万円、役務 万円

	物品	役務		物品	役務		物品	役務
広島市	25	0	庄原市	0	0	熊野町	-	-
呉市	不明	622	大竹市	0	0	坂町	0	0
竹原市	把握できていない		東広島市	-	-	安芸太田町		20
三原市	142	273	廿日市市	0	43	北広島町	0	0
尾道市	0	1,024	安芸高田市		258	大崎上島町		85
福山市(※)	0	0	江田島市	11	4	世羅町	0	13
府中市		380	府中町	0	0	神石高原町	10	
三次市	0	40	海田町	0	0			

⑤平成21年12月までの発注金額は、物品 万円、役務 万円

	物品	役務		物品	役務		物品	役務
広島市	146	421	庄原市	0	0	熊野町	-	-
呉市	不明	1,171	大竹市	0	1,399	坂町	0	0
竹原市	把握できていない		東広島市	-	54	安芸太田町		3
三原市	142	273	廿日市市	0	0	北広島町	0	0
尾道市	21	1,180	安芸高田市		57	大崎上島町		85
福山市(※)	326	0	江田島市	6	3	世羅町	0	8
府中市		380	府中町	0	0	神石高原町	6	
三次市	0	0	海田町	0	0			

	21年度	20年度
物品	647	188
役務	5034	2762

H21年度(12月末まで)受注分		H20年度受注分		ある	ない	合計
☆	53万 公民館等の清掃(前年比1件増)	55万 公民館等の清掃				
☆	50万 保育所清掃/保健センター清掃	21万 保育所清掃		24	32	56
☆	100万 公園・公衆トイレ清掃業務			43%	57%	
☆	225万 清掃委託業務	300万 清掃委託業務				
☆	264万 公園清掃×2件	約266万 公園清掃×2件				
☆	370万 清掃(ワックス含)	370万 清掃(ワックス含)				
☆	約42万 都市公園管理					
☆	39万 草刈り,除草,清掃業務	約97万 草刈り,除草,清掃業務		はい	いいえ等	
☆	10万 草刈等	—		12	10	
☆	16万 洗車業務	20万 洗車業務				
☆	0	45万 印刷・SPコード付				
☆	46万 印刷	35万 印刷				
☆	23万 印刷(封筒、帳票類、名刺)	32万 印刷(封筒、帳票類、名刺)				
☆	145万 名刺/記念品(木製時計)	47万 名刺				
☆	600万 印刷など	700万 印刷など				
☆	79万 封筒詰め業務/広場管理・清掃業務	76万 封筒詰め業務/広場管理・清掃業務				
☆	約11万 広報等発送準備・	12万 広報等発送準備,施設敷地内草取り等				
☆	100万以上 市役所入札他	100万以上 市役所入札他				
☆	8千 レターセット	8千 レターセット				
☆	9.5万 ふきん					
☆	約9万 保育所パン	約59万 保育所パン・卒園式用お土産				
☆	80万 新成人記念品	0				
☆	211万 フェイスタオル・ランチョンマット等	288万 フェイスタオル・ランチョンマット				
☆	— 記念品の受注					
	21年度	20年度				
	物品計 310	347				
	不明 100	100				
	役務計 2073	2076				
施設管理	清掃草刈等 1169	1129				
	印刷等 814	859				
	軽作業 90	88				
	寝具のリース					
	合計 2483	2523				

思う	思わない
13	32